

世界の根・ちまみの「ニューズ」

第14号

2018年12月16日
 日本共産党根室市委員会
 根室市宝林町4-203
 TEL 23-6023
 FAX 24-1684

「強権」めざらぬと無関心どど何が?

「道新」12月9日(日)号、小形雅典編集員の記事「異聞風聞・うそと無関心の行く末」を読んで現代社会を如実に著したものととして同感させられました。

今臨時国会での相次ぐ暴走政治とそれへのアキラメや無関心この国の行く末がどうなるのか「唯々心配しているだけは何も産まれてこないしまあ」と年末を迎えてきえさせられています。

ウンが許される風潮

記事によれば、明白に事実と反する発言がややすやすと許されるのに驚く。先月の中間選挙後も変わらぬ。うそに慣れて本当だろ(うそ)だろ(うそ)と構わない「ウ」の心理「ウ」ながら、「ドリンプ氏ならひかたなろ」と「済んでしまいかねない」と指摘しています。また、対岸の話だけでは足りない。安倍首相を巡る森友学園問題、公文書がその記述に合わせて、その「現実」が変えられていった「ウ」する世間の記事です。



記事は、マイケル・ムーア監督の「華氏119」の新作映画が札幌でも上映されるに合わせたもの。特に筆者が気になったのはムーア監督が「うんざりして諦めた時代に独裁者が現れる」と言っていることだ。

先にも述べましたが現代の日本社会を見たとき改めてこの記事「」なるほど」と思った次第。

誰がやっても同じ?

よく選挙活動で歩いている「選挙なんか関係ない。誰がやっても同じ。」という人たちがよく出る

います。昨今の選挙、毎回低下する投票率。とりわけ若者世代の選挙や政治離れがこれでもいいものなのか。

「入管法」の強行採決で安上がりの外国人労働者がドンドン入るとそれによる若年労働者の賃金がより低くなる悪循環。世の中で起きてくる「つひつひにシッカリした「眼力」をつける。そして、国民自身が少しでも「賢く」ならなければこの国の行く先がどうなるのかつくづく色々な分野で試されているそんな気がしてなりません。

つねづね...

あじだみお「お集の」の「あじだみお」は余りにも有る。この世の中あまの「あじだみお」が許されないと感じているのは、私一人でもないように思われます。そんな世相について少しだけ書いてみました。

マニュアル社会?

給食や掃除の時間しゃべってはいけない「筆入れには鉛筆をり本入れる」座しているときは足の裏を床にと。近年子どもたちの行動を細かくルール化する小中学校が増えているとの記事が「ぶん赤旗」毎日本版の「潮流」1月27日号に載っているのを目にしました。



求める学校が荒れていたのを思い出しました。ルール化だけが先行すると本来の意味での「教育」が遅れ、子どもたちの成長が伸びのび出ないでいた記憶がよみがえりました。

潮流」は、文字通り子どもたちの「一挙一投足を監視するかのようで、軍隊みた「ウ」の声を紹介。

どうもこの頃、何かにつけて型にはまって「オスギス」と感じています。

一部には「ルール化、マニュアル化したほうが指導しやすい」という声もあるが、人間の成長は「つひつひ」なものと疑問を投げかけています。

我々の住む地球環境、強いものだけが生き残る訳ではありません。現生人類を「モサド・エンス」と言いますが、人類属の中で、唯一生き残ってきたのが我々です。そのホモ・サド・エンスは、実は弱い生きものでしたが、賢い生きもの「だから」生き

神忠志の勝手気ままな料理教室その7

大晦日や正月が近づいたので多くの人が「これはいい」と喜んで「ラーメンサラダ」を一品紹介します。紙面の関係でサラダにかける「ドレッシング」を。①ニンニクをすりおろす ②①にオリブオイル、本塩一つまみ ③普通の「シヨウ」を振り、よくかき混ぜる ④オリブオイル6に目検討でメンマ4をかき混ぜサラダへ、その上に粗き黒「シヨウ」を、サラダはラーメンに野菜なら何でもハム細切り錦糸卵などを 絶品です。